

平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	下水道における戦略的維持管理の推進に関する調査経費		担当部局庁	水管理・国土保全局下水道部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～平成24年度		担当課室	下水道事業課		課長 塩路 勝久		
会計区分	一般会計		施策名	11 住宅・市街地の防災性を向上する				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	・社会資本整備重点計画(H21.3.31閣議決定) ・新成長戦略(H22.6.18閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	増大する下水道施設を効率的に管理し、下水道サービスを安定的に確保するために必要な、新規整備、維持管理、延命化、改築更新までを一体的に捉えたアセットマネジメント手法の実施に向けた検討を行い、かつ国際規格に関する情報収集等を行うことを目的とする。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	下水道施設ストックが増大し、老朽化施設の改築等に係わる費用も増大しており、効率的な施設管理の重要性は一層高まっている。また、下水道分野では各施設のライフサイクルコストの最小化に向けた長寿命化計画策定を推進しているところであるが、今後は予算・財源の確保を踏まえ中長期的な経営等を含めたより幅広い視点からのアセットマネジメント(以下「AM」という。)の推進が求められているため、AMの推進に向けたガイドラインのとりまとめを行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	-	-	12	11	-	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
	計	-	-	-	-	-		
	執行額	-	-	12	-	-		
執行率(%)	-	-	100	-	-			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)	
	下水道施設の長寿命化計画策定率		成果実績	%	約8	約24	集計中	100
			達成度	%	約8	約24	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	活動実績 (当初見込み)						-	
単位当たり コスト	(円/ )		算出根拠					
平成 24 ・ 25 年 度 予 算 内 訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	住宅・市街地防災対策調査費	11	-					
	計	11	-					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	適切なものである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	適切に対応している。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	着実に推進している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道施設の老朽化に伴う更新費の増加や、厳しい財政状況の中での安定的な下水道サービスの確保は、大都市に限らず、全国的な課題であるため、国として下水道における戦略的維持管理を推進するため、アセットマネジメント手法を確立し、その手法を全国的に展開していく必要があると考える。</li> <li>・発注先の選定にあたっては、企画競争による手続きにおいて、企画提案書の評価にあたり匿名評価方式で書類評価を行うとともに、企画競争委員会における外部の有識者委員会による審査を導入し、より透明性・公平性の確保を図っている。</li> <li>・業務の実施にあたっては、適切な指示を行うなど、国が求める調査内容となっているか、方策とりまとめに向け調査内容に過不足はないかなどの確認を行っている。</li> <li>・調査終了後、完了時の検査を通じて、発注先より提出のある成果物（報告書）の内容が、国の求める調査事項を網羅しているか、国が指示した報告書の整理方法となっているかなどの確認を行っている。</li> </ul>	
予算監視・効率化チームの所見			
廃止		アセットマネジメントの推進に向けたガイドラインの策定に向けた検討が進み、一定の成果が見込まれることから、本事業は廃止する。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	0139

※平成23年度実績を記入

国土交通省

アセットマネジメント手法のモデル検討、課題等の整理、国際規格に関する情報収集



【企画競争】

A.民間企業(1社)

アセットマネジメント手法のモデル検討、課題等の整理、国際規格に関する情報収集

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A. 積水化学工業(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
請負	アセットマネジメント手法のモデル検討、課題等の整理、国際規格に関する情報収集等	12			
計		12	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	積水化学工業(株)	アセットマネジメント手法のモデル検討、課題等の整理、国際規格に関する情報収集等	12	随意契約 (企画競争)	97.3
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					